

# 高良大社

久留米大学留学生別科

けやき組 222BD11

許楊

## 1. はじめに

私は小さい頃から日本の神社と神話に深い興味を持っている。久留米市の中では、高良大社は最も大きな神社で、筑後国一の宮と呼ばれる。およそ 1600 年、長い歴史を持つ高良大社はとても綺麗で、美しい神社だと思う。だから私は修了レポートのテーマに高良大社を選んだ。

## 2. 背景

高良大社のホームページによると、高良大社は久留米大学から徒歩 40 分くらいかかることが分かる。直接高良大社に行くバスがないので、徒歩や車でしか行けない。参拝時間は 6 時から 17 時までである。

高良大社のホームページによると、高良大社は、昔「高良玉垂命神社」と呼ばれた。今から 1600 年前、異国の兵が筑紫に攻め込んだ。西に下った神功皇后が追い返し、筑前四王子嶺に登って神仏に助けを祈った時、高良玉垂命という神が住吉の神と共に、初めて出現されたと書かれている。

高良大社は筑紫国の一の宮である。一の宮ということは、国司が赴任した時、参拝した地域の中で一番地位が高い神社だ。久留米藩主は勿論、歴代の皇室の尊崇に加え、鎌倉時代まで、社殿などを建てることは全て勅裁によって行われ、筑後国一の宮と称えられてきた。

江戸時代に入り、戦乱が起こった。戦乱後復興し、歴代の久留米藩主の尊崇を集め、高良山信仰と文化がより深くなった。

### 3. インタビュー

2023年12月23日に高良大社へ行って、高良大社の宮司松本氏をインタビューした。質問と回答は以下の通りである。

質問1：高良大社のホームページによると、高良大社の歴史はおよそ1600年で、長い歴史を持つ神社です。特に、高良大社は筑後国一の宮と呼ばれました。筑後には色々な神社がありますが、なぜ高良大社が筑後で一番だと言われたのでしょうか。

答え1：筑後国一の宮と呼ばれたのは、だいたい昔からここに住んでいる人から伝えられてきたことです。そして国使（現在の県知事）も認めるので、筑後国一の宮と呼ばれました。

質問2：高良大社の主祭神というのは「高良玉垂命」ですが、その神様は日本神話において、国津神ですか、それとも天津神ですか。

答え2：高良玉垂命は「古事記」や「日本書紀」も載っていないので、詳しいことも分かりません。だいたい国津神と思います。

質問3：高良大社に関する神話や伝説は、ホームページに載っている神功皇后以外にも何かありますか。

答え3：高良大社なら一番有名な伝説は神功皇后のことです。他には特にありません。

質問4：ホームページに載っている写真を見ると、高良大社の祭りはとても壮大で、美しいと思います。高良大社の祭りや行事について、特に注目すべきものはありますか。例えば川渡祭なら、どこに注目して見たらいいのでしょうか。

答え4：高良大社は戦前、国家神道で国に統一管理されました。だからその時の祭りも統一されていて、地方性がありません。「川渡祭」というのは、昔から地元の住民にとって川の神を祈る祭りでした。高良大社も祭りの場所で、大人気でした。

質問5：久留米市の神社というと、高良大社と西にある水天宮を思い出します。では、地元の人々が高良大社を訪れる主な理由は何ですか。

答え5：久留米市民から見ると、高良山は神聖な山でした。高良山の上から朝日が昇り、夜に来ると月が昇ります。つまり高良大社も信仰の神社で、地元の住民から信仰を集めています。だから地元の人々は高良大社を訪れてきました。

質問6：ホームページには、高良大社の社殿は九州最大級と載っています。美術や文化の視点から何か特に注目すべきところはありますか。

答え6：高良大社の社殿は昔有名な大宮さんによって建てられたので、国の重要文化財に載りました。社殿は多くの祭りに役立ってきました。

質問7：高良大社における神主や神職の役割について教えてください。

答え7：神主や巫女などの神職は、日常の神社の整備や清潔を行っています。また、神社の運営やお祭りの準備を行っています。

質問8：高良大社の初詣において、何か特別な習慣がありますか。

答え8：特別な習慣はありません。初詣なら、まずは手水舎で手を洗い、口をすすぎます。そして初詣の拝礼は軽く一礼をして、深く二度礼をして拍手二回、もう一度深く礼をします。これは高良大社の初詣の拝礼です。

質問9：高良大社が地元久留米や福岡県にどのような影響を与えていると思いますか。

答え9：高良大社は地元の民だけでなく、佐賀県の杵島郡などからもきた人もいます。筑後地域の人々にとって、高良大社は信仰の対象です。人々も高良大社に尊崇の心も持っています。

インタビューをする前に、緊張したが、実は高良大社の宮司の松本氏はとても親切な人だった。松本氏は高良大社のことをよく知っていて、私の質問も親切できちんと答えてくれた。インタビューする前に 2023 年の年始に私は一度高良大社に参拝したが、詳しいことも分からなかった。松本氏の説明は非常に理解しやすく、高良大社に深く愛することも感じられた。その説明によって、今は高良大社に対して理解が深まり、高良大社の歴史的な建物や神聖な雰囲気も感じ、地元の人々はなぜ高良大社に参拝するのかもよく分かった。

#### 4. 考察及び提案

高良大社に行き、宮司の松本氏にインタビューして、高良大社の輝かしい歴史ときれいな社殿を心から感じられた。高良大社は一般的な神社ではなく、地元の住民にとって神聖な神社で、多くの方が信仰している神社だ。私は高良大社に来た時、朝十時でも大勢の人が集まって、参拝していた。地元の住民の方の気持ちや、高良大社に対する信仰が心から深く感じられた。

高良大社の宮司の松本氏にインタビューし、様々なことが分かった。今後、高良大社の信仰している「高良玉垂命」という神様について、神話学的に詳しいことを調査したいと考えている。また、高良大社に参拝する人は想像以上に多いので、管理や事故予防などにも注視したほうがいだろう。

#### まとめ

高良大社は福岡県久留米市の高良山にある地元の神社である。久留米市だけでなく、筑後国一番大きな神社で、「筑後国一の宮」と呼ばれる。神紋は木瓜、今から 1600 年以上の歴史を持つ古い神社である。

高良大社の主祭神は「高良玉垂命」という神様で、伝説によると、昔、異国の兵が筑紫に攻め込んだ時、西に下った神功皇后が筑前四王子嶺に登って神仏に助けを祈った。その時、高良玉垂命が住吉の神と共に出現されたと伝わっている。そして一の宮という称号は、昔か

らここに住んでいる人によって伝えられ、その後、国使にも認められ、筑後国一の宮と呼ばれ始めた。

高良大社は九州最大級の社殿を持つ、昔の有名な大宮によって建てられたので、今は国の重要文化財として登録されている。二回目に見た高良大社の社殿は高くて美しい。また、何度来ても、高良大社に参拝する人が大勢いる。参拝者は老若男女を問わず、小学生から高齢者の方までいる。参拝者はとても敬虔で、宮司の松本氏が説明した高良大社は地元の人々の信仰が集まっているという話が深く理解できる。高良大社から、久留米市の市街地もよく見える。久留米市は高良大社に守られていることが、久留米市民に信仰される理由の一つだと思う。

#### 参考文献

高良大社 <http://www.kourataisya.or.jp/> (2024年1月15日閲覧)



写真1 高良大社に参拝する大勢の人  
(2023.12.23 撮影)

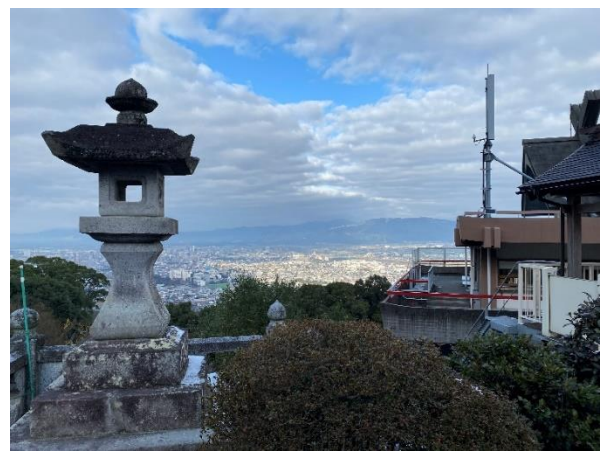


写真2 高良大社から見る久留米市の市街地  
(2023.12.23 撮影)



写真3 私と宮司の松本氏  
(2023. 12. 23 撮影) 撮影許可あり



写真4 高良大社の手水舎  
(2023. 12. 23 撮影)



写真5 高良大社の参道からみる久留米市の市街地 (2023. 12. 23 撮影)